

2009 年 8 月 12 日（水）日刊工業新聞

## 鉄道技術の歩み展示、東急車輛が記念館 技術伝承や社員教育に活用

故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る一。東急車輛製造（横浜市金沢区、落合和雄社長、045・701・5155）は、本社敷地内に「横浜製作所歴史記念館＝完成予想図」を21日開設する。主力製品である鉄道車両や関連技術の歩みを“見える化”し、技術伝承や教育、社員のモチベーション（動機付け）向上につなげる。

同製作所や製品流れが分かる年表のほか、製造所や製造年を記載した「製造所銘板」などを展示する。一般公開はしないが、商談などで来社する取引先関係者には公開する。

また、同社は事業基盤を築いた主力製品を「東急車輛産業遺産」として、永久保存するプロジェクトを展開。09年度は日本初のオールステンレス車両「デハ7052」を指定し、記念館横に設置する。（横浜）



歴史記念館 完成予想図